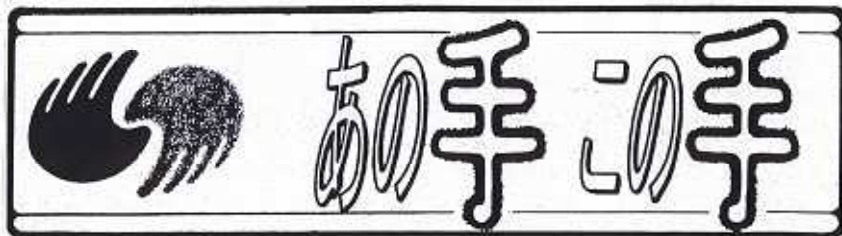


いくつも

2007年度の事業が進んでいます
大和市民活動センター



第8号 発行 2007年 6月6日

大和市民活動センターは 共に育ち 共に成長する 共育(ともいく)の場です



表紙イラスト: 樋口太郎さん

大和市民活動センター個人登録メンバーです。絵手紙の趣味を生かされてボランティア活動をされています。センター内に飾ってある多くの絵手紙は 希望者にお付けしています。

来て見て学んで、おしゃべりも!

おしゃべりラウンジ パルス

～ドキドキするんだよ、ここに来ると～

第2回 6月16日(土) 10:00~12:00

2回目を迎えた「おしゃべりラウンジ」。聞いて、しゃべって、きっと新しい発見に出会えるはず。市民活動をされている方、市民活動に興味のある方、ふるってご参加ください。



第4回市民活動共育マネージメントセミナー

「ボランティアってなに？」

7月 日() 00:00~00:00

市民活動のための
共に学び、共に育つ連続セミナーです。
「ボランティアってイマイチわからない？」
という疑問の答えを ここで見つけましょう。

「おしゃべりラウンジ パルス」、「市民活動共育マネージメントセミナー」、どちらも大和市民活動センターで開催します。
お気軽にご参加ください。 詳しいことは当センターまでお問合せください。

発行: 大和市民活動センター 〒242-0021 神奈川県大和市中央 1-5-1
Tel / Fax: 046-260-2586 e-mail: yamato@ar.wakwak.com
URL: <http://park23.wakwak.com/youkoso/>

特集：2007年度大和市民活動センター事業計画

活かそう！ひろがりのわ つながりの手 (大和市民活動センターに入るとすぐ目につく看板)

2007年度の事業が進んでいます。

私たちの想い、私たちの力を広げていきましょう。

ひとまず、こんなスケジュール

～ 年間スケジュール ～

(2007年6月現在)

<市民活動共育マネジメントセミナー>

第3回

「どうしたら、効果的なリーフレットができるか」

* 5月24日(木)開催しました

第4回

「NPOがわからない」

7月20日(金)18:30～20:30

ゲスト: 椎野修平さん

第5回

「助成金申請書の書き方

～相手のハートをgetする方法～

9月予定

<おしゃべりラウンジ パルス>

～ドキドキするんだよ、ここに来ると～

第1回

5月26日(土)開催しました

第2回 6月16日(土)10:00～12:00

第3回 7月21日(土)10:00～12:00

<工作教室の開催>

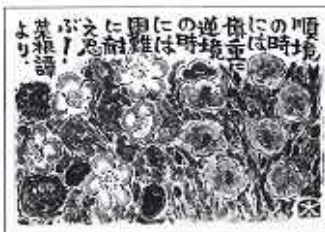
8月中旬～下旬予定

<第2回 カッコフェスタ>

～市民活動交流フェスタ2007～

11月開催予定

(6月 実行委員募集予定)



絵手紙より

大きく市民活動の輪を広げたい

今年度の事業計画ができました

協働の拠点運営委員会 事業計画担当

副会長 山田裕子

おかげさまで大和市民活動センターも設立から3年目を迎え、2007年度事業計画を作成することができました。今年度は当センター会場がいっそう多くの方々で賑わうことができる企画をたくさん実施していきたいと考えております。

新たな試みとして「サポーター制度」を開設しました。この制度は大和市民活動センターのあらゆる業務、たとえばホームページ更新、広報メディアへ向けての広報活動、イベントチラシ・ポスター、敷地周りの看板の作成、「カッコフェスタ」企画実行、交流会やセミナーのスタッフ、市民活動団体への訪問活動など、センターの扉を外に向けて思い切って開き、多くの市民の方々に、ひろく事業にかかわっていただくという制度です。

運営委員が事業計画に携わることは昨年と変わりませんが、今年度はいっそう多くの方々に参加していただくことを考えています。

5月に入り、担当運営委員のメンバーたちが話し合って事業計画を作りました。運営委員との打ち合わせを重ねるうち、これから加わってくれるだろう人たちに対して、どういう対応をしていくかを考えては、まだ見知らぬ人々との出会いが大変楽しみにになりました。

多くの人を迎えること。それは大和市民活動センターにとってなくてはならない活動です。広く「協働」を実現するためには、さまざまな社会背景を持った、全く違う人間同士でも、お互いを尊重しあい同じ目的に向かって力を合わせることが可能であるという高い理想を持つことが必要です。私たちは共に学びあい、育ち合うことができる、という想いを持って、あらゆる市民活動を応援していきます。

これからも市民が行う「協働の拠点」としての運営方向を模索しつつ、新たな仲間新しい風を入れていただきながら、一步一步進んでいきたいと思っております。

ワンポイント 解説します

運営委員会の活動の根拠となるものは...?

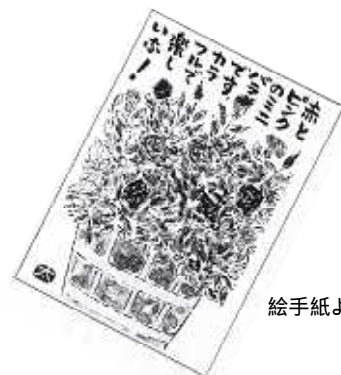
協働の拠点運営委員会運営は「協働の拠点運営委員会会則」という会則で定められており、これを基に事業を行うことになっております。今年度からは、この会則の第4条に定められている「事業」を5つのグループに分けて展開していく予定です。(P3参照)

会則についての詳細は、大和市民活動センターのサイトをご覧ください。

<http://park23.wakwak.com/yokoso/>

私たちの事業計画をいっしょに進め・広げましょう

新体制がスタート ～協働の拠点運営委員会～



絵手紙より

**市民活動に関する
市民、市民団体、
事業者及び市の
交流・共育の推進
事業**

「おしゃべりラウン」
「カッキーフェスタ」
などを計画して
います。

**「社会資源」
の創出及び発信**

「社会資源創出
講座」の開催や、
声プロジェクトなどの
社会資源の創出に
務めます。

**市民活動 及び協
働事業に関する
相談や研修事業**

「協働事業相談会」
などの 相談会、
「共育セミナー」を
行います。

**市民活動促進
のための施設
及び設備の提供**

当センターの施設、
設備管理、情報管理
などを務めます。

**市民活動に関する
情報の収集及び
提供事業**

広報誌「あの手この手」
の発行、ホームページ
ニュースレターの発信
を行っています。

「新しい公共」の風を送るセンターとして

大和市民活動センターは『大和市新しい公共を創造する市民活動推進条例』に謳われた「協働の拠点」です。「社会資源の充実を図る」のが設置の目的ですが、いろいろな知恵や情報が集まっている、集まってくる、集まって「共に育ち合える、みんなが共生するまち大和市」を創っていくための拠点です。

このセンターの運営を担うのが公募市民により構成される協働の拠点運営委員会です。2004年10月にスタートした協働の拠点運営委員会は「共育」をコンセプトに組織を固め、また外に「共育」の輪を広げてきました。

そして、この4月より第2期運営委員の活動が始まりましたが、今期は設置目的である「社会資源の充実」というわかりづらいテーマに取り組みます。自己研鑽の生涯学習や一見趣味的なものも社会に開けば資源になります。こうした多くの人的資源を掘り起こす事業を行います。

市民活動センターがネットワーキングのコアになり、一人ひとり、団体同士の力を繋げ機能させ、「新しい公共」の風を送るセンターにしたいと思っています。

また、市民活動センターは実際の現場で市民事業や協働事業を行いたい個人、市民団体、事業者と大和市協働推進会議との橋渡しをする重要な役割も担っています。新しい公共の担い手である市民活動団体が生き生きと活動し、共に創るまち大和市を実現することが、協働の拠点・大和市民活動センターの使命です。

これらの実現は市民・市民団体の皆さんの参画があって初めて可能となります。どうぞ市民活動センターに足を運んでください。お待ちしております。

協働の拠点運営委員会 会長 関根孝子

誰でも、いつでも相談できるセンターを目指して

事務局では、来館される団体や個人の方々に、どのようにセンターの施設を利用していただけるのか、どのようなサービスが可能なのかなどを考えながら日常の業務を行なっております。

当センターは、年末年始と日曜日以外は全て開いており、現在4名のスタッフが毎日交替で2名が常駐して、来館される方々に対応しております。

来館される目的は様々です。活動の拠点にするために団体登録に来られる方、パンフレットや報告書等の印刷に訪れる団体の方、フリースペースを使って、待ち合わせてから打ち合わせを行う方々、会議室を使って会議を行う団体、諸々の資料を集めるために来館される方、インターネットで情報検索される方、貸し出し用の機器類(プロジェクターやスクリーン、図書など)を借りに来られる方、困ったことについての相談に訪れる方など色々な目的を持って来館されます。中には何の目的もなく、ただふらっと立ち寄ったと言う方も時々あります。

これら諸々の目的を持った方たちが、センターに滞在されている間、充分ご満足いただけるように目的に応じてお手伝いすることも

私どもの業務の一つです。

特に相談などで来館された場合、スタッフからのアドバイスに満足された様子でお帰りになるときは、ああ良かったなど、こちらもついうれしくなります。

建物は狭く、見てくれはよくありませんが、問題は中身です。皆さまのお役に立つような情報発信を行うべく、毎月末にニュースレターを電子メールで送信、紙ベースの広報誌も年4回発行する等々。このほかにもセンターで実施するイベント案内等はチラシなどでお知らせすると共に「タウンニュース大和版」やミニコミ紙などの定期刊行物に投稿、FMやまともに情報提供するなど、広く市民の方々の目に触れるよう努力しております。

センターへの登録団体は情報発信の基地として活用していますが、チラシやパンフレット等の展示スペースが少ないのが悩みの種です。

誰でも何時でも利用でき、相談相手にもなれるようなセンターであり、スタッフでありたいと願っております。

大和市民活動センター 事務局長 間瀬富隆

第3回「共育セミナー」の報告

はたして、

「あの手この手」のこの紙も笑ってくれるか

ということが今回のセミナーの課題であり、そのことをどれだけ意識できるようになったかが今回のセミナー参加者からの評価になるのだと思います。

5月24日(木)

市民活動「共育」マネジメントセミナー

第3回は「効果的なチラシづくりとは？」

題して「泣く紙、笑う紙」センターにて 21名参加

講師：小杉皓男（本づくり屋）

私たちは正に湯水空気のごとく毎日、紙を消費しています。例えば毎日の新聞、全部の量のどの程度を読んでいるか、そこにどっさり折り込まれてくるカラフルな宣伝チラシ類。



ほとんどが目を通さずにそのまま資源回収行き。なんともったいないことか。

改めて紙＝印刷物の大切さを認識したい。市民活動のなかでつくられる「紙」は経済的にも環境負荷の視点でも1枚も無駄にしたい。効果的な紙面にしたい。

大和市民活動センターに来ると、常に50種前後のリーフレット＝印刷物が目に入る。どれに思わず手が出るか。無視され、いつまでもラックにそのままさびしく残ってしまうのはどれか。毎月2回届く年間数千万円の予算が使われる「広報やまと」の裏表紙のつくり＝印刷の仕方を点検採点し、改良点を具体的に挙げた。また外出介助サービスの「NPOたんぼぼ」さんのA4サイズ三つ折りリーフレットを教材に取り上げた。参加者全員で「たんぼぼ」さんの表紙づくりにチャレンジ。作品をペニヤ板に貼り出した。ちょっと工夫するだけでぐんと「紙の価値」がアップすることをみんなで認識できたと思う。

当日のレジュメの結びのフレーズは、

「うん、それならいいよ」と笑ってくれる「紙」でありますように……

おしゃべり 「ラウンジ・パルス」開催

5月26日(土)第1回「おしゃべりラウンジ・パルス」を開催しました。

ユニークで言葉遊びを取り入れた自己紹介に始まり、初対面どうし笑いあい、しゃべり合い、楽しいひとときが あっという間に過ぎて行きました。テーマは特に無く、それぞれの活動内容を活発に発表する場となりました。

今後も毎月開催いたしますのでご参加ください。

求む・あなたの応援

市民活動センターでは、サポーターを募集しています。

これまで、センター企画のイベント等に市民の方々にご参加いただきましたが、今後は、私たち市民のための企画をより多くの市民の手で実現していくために、事務全般について一般のボランティアの方々にご協力をお願いすることにいたしました。

つきましては、私どもと一緒に、センターの業務全般を支えてくれる方(サポーター)を募集します。興味ある方はお気軽に大和市民活動センターまでお問合せください。

カッコフェスタ実行委員募集!

いっしょにカラをヤブリませんか?

昨年、大和市民活動センター2周年のイベントとして「カッコフェスタ」を開催しました。今年も引き続きイベントを行います。今年も成功させましょう。ただ、その前に「カラをヤブリましょう」

一つひとつの活動には、それぞれのプライドや想い、そして悩みや問題があります。強い気持ちがあるからこそがんばれる。まさに市民活動の醍醐味です。だけど……そろそろバージョンアップの時期ですよ。

大和市内の市民活動団体・NPOなどが手を取り合ってワクワクする「まち」を作りたい。その第一歩が「カッコフェスタ2007」だと信じています。われこそはという「型破り」で「カラヤブリ」。そんな「ラブリー」な人が集まって1年に一度の爆発力を見せましょう!!

現在の企画と募集中のサポーターです。広報関係…チラシ・ポスター作成・イラストの描ける方、ホームページ更新・広報誌発行
交流会イベント「おしゃべりラウンジパルス」の企画・広報・準備・開催 他
セミナー「共育マネジメントセミナー」準備・広報・開催 他
市民活動団体ガイドブック作成 作業企画にそって発送した原稿の回収 他
市民活動団体活動内容・市民活動の調査、意義ある活動をしなごらも、あまり知られていない市民活動団体の実態を様々な市民活動の場を訪ねて記録・広報。詳しくは、当センターまでお問い合わせ下さい

熱血編集後記



絵手紙より

毎日の食事のような生活の一部、大和市民22万人、9万2千世帯に「センター」はなくてはならない共に生きる「装置」でありたい、と思いつつ動く大和市民活動センターであつたらと。 小杉皓男

今期も「あの手この手」の編集に携わることになりました。「市民活動センター」ここにあり」の広報に努めます。 関根孝子

「あるべき姿」といつ「ポジション」があつてこそ、目標が掲げられるのだ……と思つています。一つひとつの活動が、いずれは一つのつねりとなつて「あるべき姿」へ期待と希望。市民の力を信じています。 中島双美

新体制がスタートして初めての広報誌ができました。今年度も情報のたくさん詰まった広報誌をお届けできますよう努力したいと思つています。 中山みゆき

今期からサポーターの立場で広報仲間になつていきます。皆であーでも無い、こーでも無いとグループ作業をしているとたくさんの方の気付きやアドバイスを楽しみながら受けられます。 望月則男

活動が始まったばかりなのに、もう息切れしてあります。今回は、雰囲気、気持ちは伝わったでしょうか。次回はもっといい文章が書けるように頑張ります。 山田裕子